

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第20報 ～

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成15年8月18日

## 1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



*Rhodomonas* sp.

(ロードモナス)

褐色鞭毛藻綱

細胞は、長楕円形で長さが約10 μmと小型であり、葉緑体は少し赤みを帯びている。

2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種

× 1000



*Bosmina longirostris*

(ゾウミジンコ)

甲殻類

体は丸みを帯び、吻端の第1触角が長い  
ためゾウミジンコと呼ばれている。

コメント

植物プランクトンは、褐色鞭毛藻のロードモナスや藍藻のアファノテーケ、緑藻のクラミドモナスと小型の種類が多く見られた。今年は雨天の日が多いせいか、昨年よりプランクトン数が多い傾向にある。動物プランクトンは、甲殻類に属するゾウミジンコやワムシ類に属するドロワムシが多く計数された。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
甲 殻 類	<i>Bosmina longirostris</i>	20

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪 虫 類	<i>Synchaeta stylata</i>	20

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当

(2) 植物プランクトン

平成15年8月18日

第20報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis wesenbergii</i> *	1		
(藍) <i>Microcystis novacekii</i> *	1		
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	160		
(藍) <i>Gomphosphaeria lacustris</i> *	10		
(藍) <i>Oscillatoria Kawamurae</i> *	1		
(珪) <i>Melosira varians</i>	3		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	92		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	23		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i> f. <i>spiralis</i>	62		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis</i> var. <i>pusilla</i>	10		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	30		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	15		
(珪) <i>Synedra acus</i>	2		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	10		
(渦) <i>Ceratium hirundinella</i>	1		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	300		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	140		
(緑) <i>Oocystis solitaria</i>	30		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	4		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	4		
(緑) <i>Staurastrum</i> sp.	1		
(藍) 藍藻綱	173	19.2	85.7
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	247	27.4	4.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	1	0.1	0.7
(褐) 褐色鞭毛藻綱	300	33.3	1.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	179	19.9	8.1
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	900	総体積 ( $\mu\text{m}^3$ )	4.40E+06
種類数	21		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体 / ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。